

学校と地域のつながり



学校・地域のイベントや児童・生徒の活躍は地域の誇り

(文責は編集事務局)

「まちたんけんに行こう」—寿楽園へ—

西野川小学校の3年生が自分達の住む町を知るため「まちたんけんに行こう」という社会科の授業で、今回は地域の福祉施設の寿楽園（社会福祉法人）を訪問。食堂・談話室、お風呂、中庭、書道クラブの様子などを見学しました。こども達から「大きなお風呂が四つもあってびっくり、スロープがあったり、車イスで入れるなんてすごい」、「中庭の野さいは、何しゅるいぐらい！だれが育てているのですか」、「水曜日は、3年2組でしゅう字の時間があります、ぜひ学校に見に来て下さい」という声が聞かれました。



町探検！寿楽園

施設の方からは「ここに住んでいるお年寄りが、今までと同じように普通の生活ができるよう園芸、書道、卓上ゲーム、カラオケなどのクラブ活動にも力を入れていますよ、また散歩している時に皆さんとあいさつを交わしたら、つながりができて嬉しいです」とのお話がありました。なお他の学年でも節分の折、鬼の顔の貼り絵をお年寄りと一緒にしたり、コーラスを披露したりし、施設との交流を深めています。

(3年生の担任は桑山先生、大須賀先生)

県大会ベスト8に輝く！

色々なスポーツの中で、打球の初速が一番早いと言われているバドミントン。その魅力は、何ととってもスマッシュを決めた時の快感！でも運動量の多さ、瞬発力、持久力が求められるスポーツです。バドミントン部の今年の大会では、女子は日頃の努力が惜しくも報われなかったです。一方男子は団体3位決定戦で敗れ県大会の出場権を得られなかったものの、個人戦は、県大会に出場し、持ち前のパワーと瞬発力を発揮しベスト8の輝かしい成績を残しました。



スマッシュの魅力

体育館での試合は、真夏であるにもかかわらず風や日光をさえぎるため、窓も暗幕も閉じ、時には館内の温度が40度近くにもなることから、選手は汗だくだくになりながら試合をし、まさに体力と集中力が勝負とも言えます。(顧問は、横尾、杉本、西田の各先生)

明日につながる好ゲーム

市中学校体育大会で野川中野球部は2回戦で川崎中と対戦しました。両チームとも、点を取ったり取られたりの白熱したゲーム展開で、7回を終え3-3の同点のまま、延長に入っても両者ともチャンスとピンチの連続の好ゲーム。そして迎えた延長9回裏の野川中の守り、ツーアウト3塁、相手チームの4番を迎え2ストライク・3ボールと追い込んだものの、最後の渾身のストレートをレフトに運ばれ、惜しくもサヨナラ負け…。負けたものの、勝利にあと一步と言う感じの試合で、選手たちは、やればできるという一種の達成感・満足感を体得し明日につながる戦いでした。普段から、あいさつ、用具の大切さ、手を抜かない気持ちの良いプレーの三つをもっとうに秋の大会に向け今日も、声の一番大きい主将の下で練習に励んでいます。(顧問は、青柳先生、杉山先生)



やる気満々

秋の大会をめざして基礎練習を！

1回戦3-2、2回戦4-0と快勝してきた野川中のサッカー部。3回戦に勝てばベスト8。



チームワークのよさ！

その試合の前半3年生のロングシュートがゴールに決まり先取点を上げたものの、後半追い上げられ逆転を許し惜敗。よく戦ったものの、すこし相手の方が一枚上かなの思いを噛みしめてグラウンドを後にしました。

現在、秋の大会のベスト8をめざして、顧問の先生や部長の下でそれぞれの持ち味が生かされるよう練習に励んでいます。特に持久力があって初めて次のプレー・技術につながることから、走力の練習を中心に、また仲間の動きを読んだパスをするなど意図のある考えたプレーにつながる練習も併せて行っています。

(顧問は、飯隈先生、高城先生)

編集後記

あいさつ運動を始めてから3年を迎え、去る7月にその総括を行い多くの方から貴重な意見をいただき、紙面で紹介させて頂きました。また今回、野川小学校の志村校長先生に執筆をお願いし、先生のあいさつ運動への思いがひしひしと伝わってきました。ありがとうございます。なお宮前区社協より昨年度に引き続き福祉の風土づくりの面から福祉団体体育成支援金を頂きました。(原、辻本、後藤、鈴木)

野川台自治会

あいさつ運動の輪

発行：野川台自治会
発行者：野川台自治会長
川崎市宮前区
TEL.
協力：西野川小学校PTA
野川中学校PTA
編集：あいさつ・防犯運動事務局



家庭・学校・地域のさらなる連携をめざして



創立30周年と地域

未来に駆け出せ～30年の足跡を野川に残して～

野川中学校校長 今井 勇

本校は昭和55年4月に開校し、創立から30年を経過し、来る11月6日(土)に記念行事を予定しています。「未来に駆け出せ～30年の足跡を野川に残して～」というテーマのもと、シンボルマークも完成し、生徒による記念製作や記念行事の準備を進めているところです。これまでお世話になった地域の方々、PTA関係の方々、教職員の皆様方をお迎えし式典を開催いたします。

これまで多くの方々に見守られ支えられ、お陰さまで30年という節目を迎えられることになりました。毎週正門で生徒に「おはようございます」の声をかけて頂いているの方々、また学区内で毎日登下校を見守って頂いているの方々、本当に有難うございます。これまでのご支援に心から感謝申し上げますとともに、さらに一層地域から愛される野川中学校を目指して、学校全体で取り組む所存でございます。

今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

野川中学校創立30周年記念行事

- 体育祭(H22・5・15) 中学校
- 合唱祭(H22・11・2) 宮前市民館
- 芸術祭(H22・11・5) 中学校
- 記念式典(H22・11・6) 中学校

親子と地域を結ぶ“おやじの会”

「こしがあって美味しいね！」と目を輝かしながら弾んだ声が西野川小学校の家庭科教室のあちこちで、これは6月の恒例の親子うどんづくりのひとコマです。今年は人気が高く午前と午後の二班に分かれて行われました。完成したうどんしか見たことのない子どもたちにとって、親子での「うどん打ち」は楽し



真剣なお父さん

く美味しい体験になったようです。それを演出したのは、同小学校の“おやじの会”。会を設立してから13年を経て、今では「うどんづくり」のほか、地域に根付いている「どんど焼き」、「ペットボトルのロケット発射」そして自然の坂道の整備などを通じて、存在感のあるおやじパワーを発揮し、学校を舞台に親子と地域を楽しみながら結び付けようとしていることが伺われました。

(おやじの会の会長は、斎藤英純)



勇壮な30周年記念体育祭

家庭も視野に入れたあいさつ運動を！

宮前区役所こども支援室長 新谷 秀子

野川台自治会と学校と一緒に進められた「あいさつ運動」が3年を経過され、会議の報告でもほのぼのとしたお子さんとの交流の様子がお聞きできました。

家庭での挨拶はいかがでしょうか。何気なく意識しないで、「おはよう」「いただきます」「ごちそうさま」「いただきます」「ただいま」「おやすみなさい」等と生活の様々な場面で挨拶を交わしていってほしいと思います。昨今の報道からは、家族の絆が弱まっているのでは、という事件が多く見受けられます。家庭の中で挨拶をしながら、「今日は元気が無さそうだけど！」「にこにこしているけど、何かいいことあったの？」と挨拶を入口にお互いの様子を気遣うアンテナを高くして、家族の基盤をお子さんが小さな時から意識して作っていただくことも大切なのではないでしょうか。家庭や学校や地域で挨拶をしながら、元気に一日をスタートしてください。



三か年のあいさつ運動を振り返って

第3回あいさつ・防犯パイロット推進委員会

平成22年7月8日野川中学校にて開催

あいさつ運動は、「平成20年度県安全・安心まちづくりパイロット事業」に採択され、地域の安全安心に係ることから公民一体の運動で進められてきました。

1 継続は力なり

最初に両校長先生より運動を始めて3年、児童も生徒も先生も、“おはよう”の大切さを実感し大きな成果だとし、時が経って運動が尻すばみにならないよう引き続き地域の人の参加があったら、開かれた学校にも繋がるし私たちの励みにもなりますと学校と地域の連携の話がありました。

2 家庭も視野に入れたあいさつ運動を

日頃から家庭、地域であいさつに力を入れていますPTA会長、社協副会長の皆さんからは、地域でのあいさつについて、向こう三軒両隣という言葉があるように、まず近隣の子の顔を覚え、ともかく声を掛けていけば、次に会う時あいさつを交わせるとの実例を挙げて頂きました。またこども支援室長から、学校と地域に加えて家庭も視野に入れたあいさつ運動の大切さのアドバイスがありました（一面参照）。

3 あいさつの輪の新たな拡がりに向けて

小学校3校と中学校それぞれの朝のあいさつ運動の状況説明があった後、地域教育会議副議長から、「子ども見守りたい」の取り組みが披露されました。また「安全で安心なまちづくり」について生活安全課長からは、犯罪や振り込め詐欺防止の話し、区役所からは、町内会と学校が一緒になってあいさつ運動を進められるよう支援していきたいとの力強い話がありました。

＊構成委員：西野川小学校、野川中学校、小・中各PTA、宮前警察署、宮前区役所地域振興課・こども支援室、地区社協、地区民協、地域教育会議（委員長 野川台自治会長）



野川台自治会のあいさつ兼防犯パトロール隊



西野川小学校の朝のあいさつ運動

「子ども見守りたい」

—— 子どもたちの安心・安全を目指して ——

今までの活動を踏まえて、皆様の広いご協力を得ながら野川中学校区の地域全体で「子ども見守りたい」という見守り活動を進め、地域の連携・交流を深めると共に、防犯などの効果も高めていきたいと考えています。これからも地域の皆様のご協力をお願いします。（野川中学校区地域教育会議議長 神津博行）

あいさつ運動の思い

西野川小学校教諭 桑山 浩

「おはようございます。」「おはようございます」火曜日の朝は、校門前であいさつの声が飛び交います。地域の方々、保護者、子どもたち、学校の職員が一緒に、2列の花道を作り迎えます。

子どもたちの当番は、月ごとに交代し、全学年が行います。やはり、あいさつを返してもらえると嬉しいようで、その気持ちが、自分も挨拶の声を出そうという気持ちにつながっていくように思います。

登校指導をしてくださっている保護者の方から、「子どもたちも、よくあいさつしてくれますよ。」という声も聞かれました。あいさつ運動を続けることで、自然にあいさつできる子になってほしいです。



野川台自治会と学校の6つの取組

- 1 朝の校門でのあいさつ運動
- 2 パトロールを通じたあいさつ兼防犯活動
- 3 標語シール「あいさつは心と心のキャッチボール」
- 4 自治会広報紙「あいさつ運動の輪」発行
- 5 警察署指導による四者合同パトロール
- 6 区役所のホームページ掲載等支援

主な担い手

学校・地域
地域
学校・地域
地域（学校）
警察・学校・地域
区役所



とってもきもちいい

西野川小学校2年

あいさつうんどうは、とってもきもちよくなって、うれしいきもちになります。

つぎもがんばりたいです。もっともっとうまくなって、じょうずにできるようになりたいです。

（くどう あおい）



野川小学校の朝のあいさつ運動

毎朝の心あたたまる光景

野川中学校の校門の前の坂道を通して小学校に通う子どもがたくさんいます。毎朝その子らに中学校の先生が「おはよう」とか、「今日は何を持っていくの!」とこどもたちの様子を見ながら声を掛けてくださっています。子どもたちも、先生方に笑顔できちとあいさつをしたり、応えたりしている光景は、ほのぼのとした温かさを感じています。多分子どもたちは、中学校に対して、壁というか、ワンステップ高いところというイメージでなく、むしろ親しみを感じているのかなと歩きながら思ったりしています。

（推進委員会にて、前之園西野川小学校PTA副会長）

あいさつ運動の果たした役割

野川小学校校長 志村 辰也

野川小学校の「あいさつ運動」をスタートさせたのは、二代前の三枝校長先生です。ちょうどその頃、野川小学校はとても厳しい状況下にありました。家庭でも学校でもなかなか自己実現できない一部の子どもたちが荒れ、騒然とした状態の中で日々の教育活動が行われていました。その状況を打破する一つの方法として「あいさつ運動」が行われるようになったのです。

校長をはじめ教職員が校門で一人ひとりの子どもたちに声を掛けることで、「決して自分はどうでもいい存在ではない、掛け替えのない大切な存在なのだ」ということを伝えようとしたのです。学校は徐々に落ち着きを取り戻し、現在に至っています。「あいさつ運動」が果たした役割は大きかったはずです。毎朝、校門には当番学級の児童、ふれあい委員会の児童、教職員、そして校長が立って、子どもたちにあいさつをしています。町会の方や民生委員さんも参加してくれています。今後も続けたい大切な運動です。



南野川小学校の朝のあいさつ運動